

2014年度 自己評価結果公表シート

平安女学院大学附属幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の愛の精神を教育の基本に据え、「自分のことばかりでなく他人のことも考えることのできる子ども」を目標にしています

- ① 自然とたくさん触れ合うなかで、子どもが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造力をもっていきいきと活動する
- ② いろいろな人と一緒に過ごすなかで、自分と友だちや他の人々との違いを認めるとともに、信頼を持ってともに生活する
- ③ 絵本とたくさん触れ合うことで、豊かな感性をはぐくむ

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・個別支援の必要な子どもの個別指導計画作成に向けて、研修会に参加し、保育内容及び指導方法の見直しに取り組む
- ・大学教員と共同で、実践研究に継続して取り組む
- ・園児が安全に過ごす事ができるように、園周辺の環境を見直す

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
個別指導計画作成にあたり、全保育者で話し合いを重ねる	個別指導計画作成に関する研修会に参加して得た学びを、話し合いや資料閲覧を通して、全保育者で共有する機会をもった。しかし不十分などところがある
実践研究の取り組みを通して、子どもたちの遊びの成り立ちを分析する	子どもたちの遊びをさまざまな方法で記録し、それを基に保育者間で検討を重ねている
子どもたちが健康に過ごせるように、保育環境を整える	各保育室及び図書室に冷暖房を完備し、子どもたちが健康に過ごせるよう、留意している
危機管理・安全管理を充実させる	隣接する大学と連携をとりながら、情報を共有し、また、それらを保護者に周知しているが、勤務形態の異なる職員への周知に、問題が残る

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・子どもたちの遊びの成り立ちの分析結果を受け、子どもたちの遊びがより発展するような遊具・環境の見直しや援助を行う事ができた
- ・安全管理に関しては、大学・保育者・保護者と情報を共有しながら、対応する事ができた

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
個別支援に関する、保育内容及び指導方法の見直しに、継続して取り組む	個別指導計画を、加配教諭と担任教諭とで作成する。また、それを検討する機会を増やし、内容を充実させる
子育て支援の様々な活動の充実を図る	園庭開放や未就園児親子登園クラスを定期的で開催し、保護者のニーズを把握し、保育内容を充実させる
危機管理・安全管理の徹底を図る	引き続き、職員全体での意識の徹底を図る必要がある

6、学校関係者の評価

【保育について】

- ・個性を尊重し、一人ひとりにあった保育を実践している
- ・少人数の強みで、ゆっくりじっくり園児との関わりを持ってくれる
- ・自然を活かした取り組みが多い

【教員の資質について】

- ・少人数の強みで、ゆっくりじっくり園児とのかかわりを持って接していただき、安心して預けられる

【行事について】

- ・子どもにとって適度な量の行事で、日々の遊びの中で養った力を十分に発揮できる場となっている

【その他】

- ・保育時間がもう少し長いと、園児が集まりやすいかもしれない

【改善してほしいこと】

- ・駐車場でこぼこをもう少し舗装してもらえるとうれしい
- ・全体的に衛生面で配慮があるといい。（トイレ、保育室など）

7、財務状況

公認会計士による監査の結果、適正であると認められている。